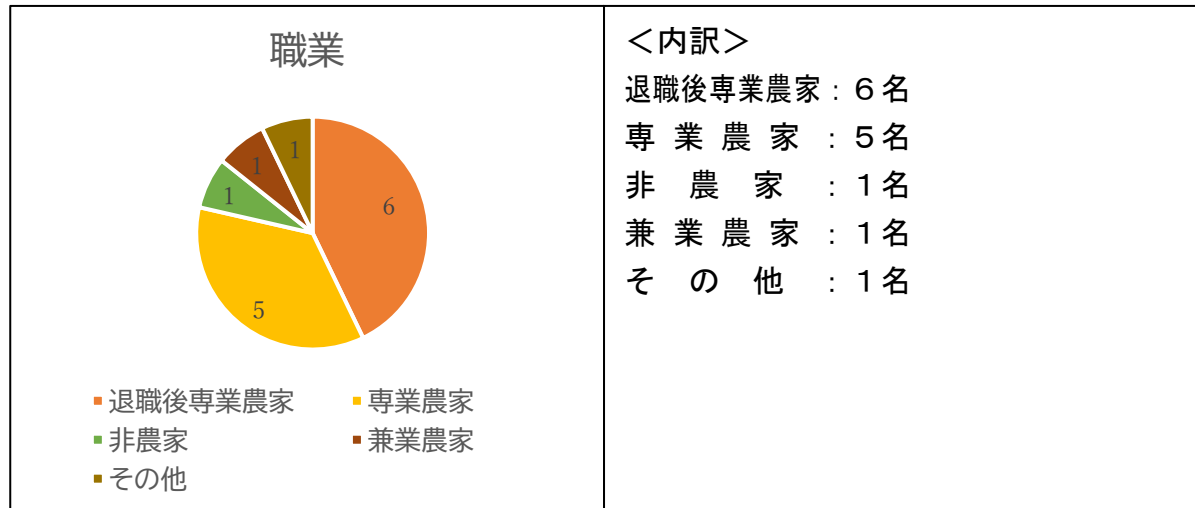


【北-田畑エリア令和5年度2回目座談会参加者アンケート 結果】

実施日:令和6年2月27日(火)

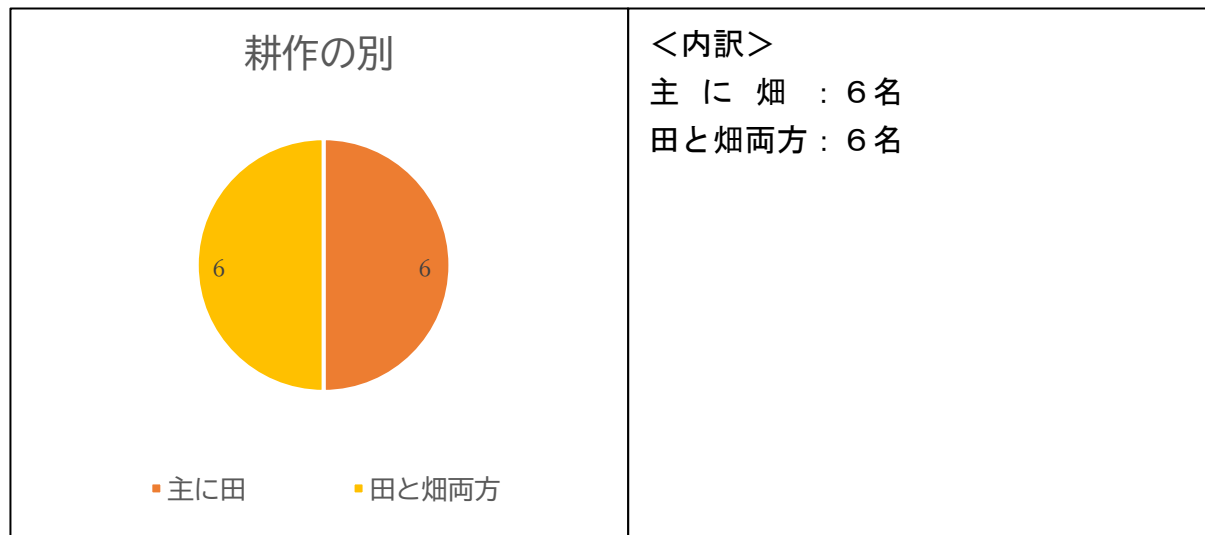
アンケート回答者:14名

■1 座談会参加者の職業



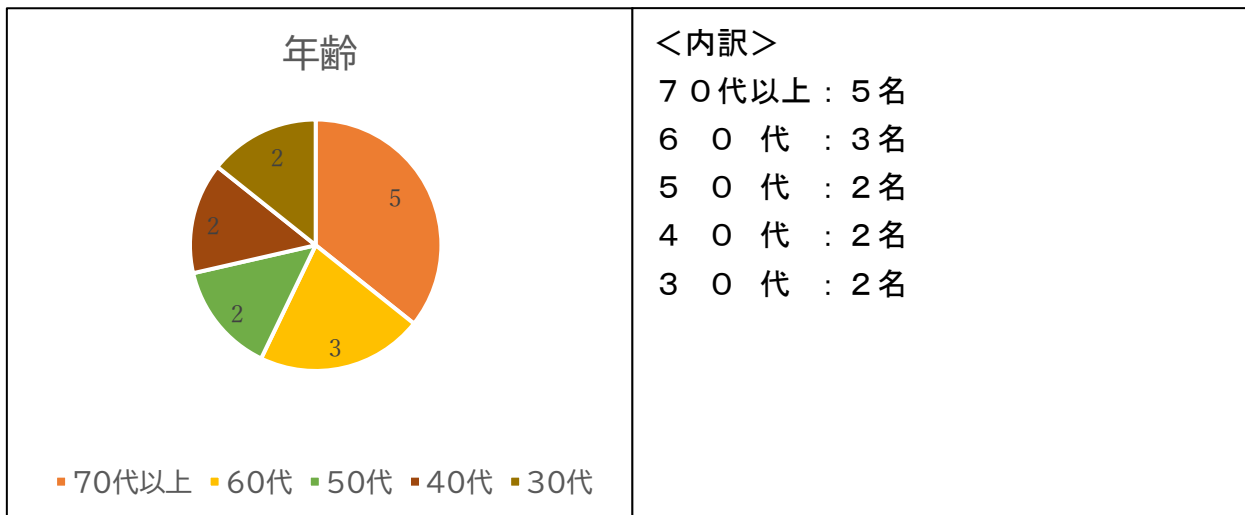
⇒退職後専業農家, 専業農家の方の参加が多かった。

■2 座談会参加者(農家の方)の耕作の別

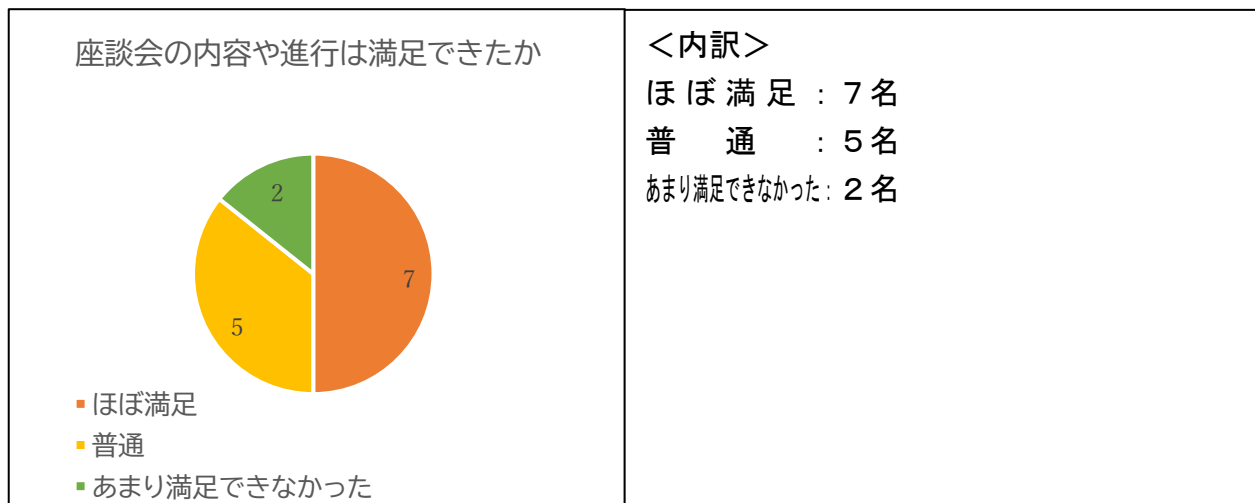


⇒「主に畑」, 「田と畑両方」を耕作している方の参加が多かった。

■3 参加者の年齢



■4 座談会の内容や進行は満足できたか



⇒参加者の多くが「ほぼ満足」、「普通」だった。

<意見>

- ・色々な意見が聞けて楽しかった。
- ・久しぶりに話せた人もいた。
- ・なかなか議論に集中できないため少し残念。
- ・話を進めるテーマが多すぎなのかもしれない。
- ・集約化は意見を出すことができなかった。
- ・必要な話し合いまではできなかった。
- ・時間が足りずまとめきれなかった。

■5 座談会で示された計画の内容等についての意見

- ・国が示した課題に何か行動せねばならないのは分かるが、行政に引きずられるだけのよう思う。
- ・畑は個人個人の努力で管理されているのが現状であり、システムチックに農地を割り振れるもの

ではないという現実を県, 国に突きつける必要もある。

- ・実現できることが理想だが, まだまだ課題は多い。
- ・まずは行動。

■6 その他の意見, 今後の座談会についての意見

- ・他のエリアの人とも話したい。(ほかのエリアの現状を知るために。)
- ・小作農としては, 自分の農地を守ることで精一杯である。
- ・集約は, 農業従事者だけの問題ではないと思う。全ての村民にこのような課題, 問題を広く知らせ, 認識, 理解を求めることも並行していくべきと感じた。
- ・定期的に行っていくのは良いと思う。